

おうちでできるミニ工作^{こうさく}

「冬の^{ふゆ}大三角^{だいさんかく}の^{かんさつ}観察シートをつくろう！」

作成：箱根ジオミュージアム 山口珠美（2021年12月1日）

^{ふゆ}冬の^{よぞら}夜空にかがやく、^{ふゆ}冬の^{だいさんかく}大三角。どんな^{せいざ}星座からできているのかな？

^{じぶん}自分だけの^{かんさつ}観察シートをつくって冬の^{だいさんかく}大三角の^{せいざ}星座をさがしてみましよう。

1. 用意するもの^{ようい}

- ・ 下絵^{したえ}「冬の^{だいさんかく}大三角を^{みつ}つけようシート」（印刷^{いんさつ}したもの）

※A4サイズ。

- ・ 透明^{とうめい}な下じき、またはカードケース^{したえ おな}（下絵と同じサイズ）

※やわらかいと^{かんさつ}観察しにくい^{そざい}ため、かための^{そざい}素材がおすすめです。

- ・ 油性^{ゆせい}ペン

- ・ シール

冬の^{だいさんかく}大三角の^{せいざ}星座：1等星^{とうせい}×4、2等星×9、3等星×6、4等星×17

※ 星はたくさんあって、すべての星にシールをはると^{たいへん}大変なので、ここでは、^{むす}星座^{しょうかい}の線を結ぶ星の数を紹介しています。

※ 1等星は^{おほ}明るいので^{おほ}大きなシール、4等星は^{くら}暗いので^{ちい}小さなシールなど、星の^{ほし}明る^{あか}さによって、シールの^{おほ}大き^かさを変えるとわかりやすいです。

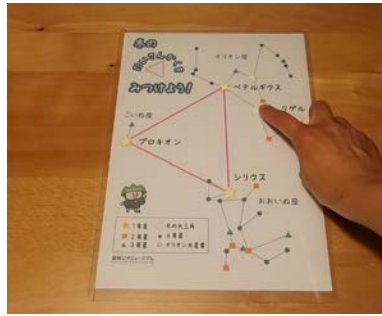
※ 蓄光^{ちっこう}シールがおすすめです。

2. つくりかた

- ① 下絵^{したえ}「冬の^{だいさんかく}大三角を^{みつ}つけようシート」の^{うえ}上^{した}に下じきをおきます。
- ② ペンで下絵をなぞって、下じきに、冬の^{せいざ}大三角の^{せん}線^かを書きます。
- ③ 星の^{ほし}明る^{あか}さの^{ちゆうい}ちがいに注意して、下じきにシールをはっていきます。
- ④ ペンで下絵をなぞって、下じきに、^{せいざ}星座の^{せん}線^かを書きます。
- ⑤ ペンで下じきに、星や^{なまえ}星座の名前を書きます。



よい
用意するもの



さくせい
作成のようす



かんせい
完成

3. オリジナル観察シートをつかって、冬の三角を見つけよう！

冬の三角は、オリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンでつくる正三角形の星の並びです。12月の下旬の午後9時ごろには、東の方角にあり、明るい星が多いため、冬の星座さがしの手がかりになります。オリオン座は、目印の三つ星をかこみ、砂時計やリボンのような形をした、巨人狩人の星座です。狩人オリオンの肩のところに輝く星がベテルギウスです。オリオンの三つ星を左下の方へのぼすと、おおいぬ座の口にあたるシリウスが見つかります。シリウスは、焼きこがすものという意味で、恒星の中で一番明るく見える星です。こいぬ座はプロキオンとゴメイザという2つの星からなる星座です。観察シートをつかって、本当の星空で星座をさがしてみてくださいね。

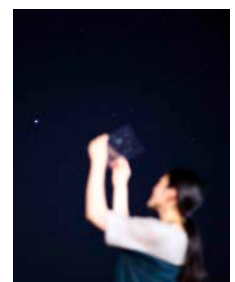
お願い：かならず大人の人といっしょに観察しましょう。



下絵「冬の三角を見つけよう」



12月下旬 午後8時ごろ 東の空



観察のようす